

書
評

Cecil H. Uyehara, *Leftwing Social Movements in Japan: An Annotated Bibliography*

住 谷 悦 治

社会主義共産主義運動、労働組合運動、婦人解放運動、部落解放運動、学生運動、さらに社会保障、社会福祉に関するものまでも、ひろく近代プロレタリア階級の解放運動につながるかぎり、それらいろいろの解放運動を綜合して、社会運動と呼ぶことが許されるであろう。しかも、それらの社会運動の正確な歴史を知ることが、歴史が主として支配階級の歴史であるような偏向をもつ日本において、とくに必要である。ところがこれらの歴史記述において、何よりも重要なことは正確にして豊富な資料である。近代日本の社会運動史の研究者にとって不幸なことは、日本においてそれら多くの資料が統一的に蒐集され編集されていなかったことであり、有能なる学者、研究者が存在しているとしても、つねに、資料の不完全、資料の分散、資料の不足に悩まされつつづけてきたのである。日本の社会運動史に関する多くの著者や文献の不

完全である事実が何よりもそのことを実証している。したがって、日本の研究者の中でも、それらの資料蒐集が敗戦後になって盛大になつてきた。しかし不幸にしてそれらの資料の所有者や研究所、左翼の組合や左翼の運動家などは度々の政府・警察の弾圧・家宅搜索、さらに戦災等によって焼失、消失、分散、紛失し、蒐集者や研究者をして徒らに悲嘆せしめる状態であつた。

ところが、今度公刊された上原氏の本書はその尨大な資料蒐集と整然たる統一的、組織的編集ぶりによって、日本の社会運動史の研究と蒐集史の上に、画期的な文献を提供してくれた。上原氏は、戦後、日本の政治史、社会運動史の研究において、非常な熱意と努力をもつて、その仕事をつづけておられたことは、日本の専門学者のよく知るところであり、敬服措かざるところであり、さらに、コール氏やトッテン氏のような日本の研究者、および日本でその方面の権威として知られている大河内一男、小山弘健、西田長寿、山田清三郎その他の援助、各方面の研究家の援助、パウ・ランガー教授やスウェアリンゲン教授など、日本研究者として有名な権威の援助など、さらに本書の Acknowledgment に詳細に掲げられているような諸権威の援助のもとに編集、著述せられたので、何よりも信用し、安心して、本書を利用しうるわけである。

本書は整然とつぎの十章に分類され各章をさらに諸項目に分ち、目録を凝視するだけでも近代の日本の社会運動史研究の研究方法が示唆されるのである。

- | | | | |
|-------------|---|--------------|---|
| Chapter I | Pioneer Works | Chapter V | International Relations of Japanese Communism
and Socialism |
| | A Bibliographies | | A Books |
| | B Books | | B Documents |
| | C Periodicals and Newspapers | Chapter VI | The Labor Movement |
| Chapter II | General References | | A General References |
| | A Documents | | B General Histories |
| | B Yearbooks | | C Union Regulations |
| | C Dictionaries | | D Histories of Individual Unions and Labor
Movements in Certain Geographical Areas |
| | D Bibliographies | | E Periodicals and Newspapers |
| | E Chronologies | Chapter VII | The Agrarian Movement |
| | F Miscellaneous Works | | A Bibliographies |
| Chapter III | Histories of the Leftwing Political Parties | | B Histories |
| | A General Histories | | C Tenant Farmer Disputes |
| | B Postwar Social Democratic Party | | D Farmers Union Organization |
| | C Japanese Communist Party | | E Periodicals and Newspapers |
| | D Anarchism | Chapter VIII | Other Social Movements |
| | E Regional Histories | | A Cooperative Movement |
| Chapter IV | Strategies, Interpretations and Policies | | B Proletarian Cultural Movement |
| | A Strategy and Tactics | | C Religion |
| | B Interpretations of Capitalist Development
and the Nature of the State of Japan | | D Student Movement |
| | C Basic Policies and Guiding Philosophies | | E Suihei Movement |
| | D Periodicals and Newspapers | | |

F Youth Movement

Chapter IX Biographies and Autobiographies

A General

B Individual

Chapter X Security

A Bibliography

B Prewar Security

C Postwar Security

近代日本の社会運動の全分野にわたって、その重要な項目を、整然と区分し、それに相応した重要な文献、必要不可欠の資料をよく配置し、一目瞭然と全社会運動をパースペクティヴに大観しうるばかりか、文献の検索にまことに便宜である。とくに巻末の Appendix と相照合して親切な文献目録といわねばならない。とくに日本人研究者のおごりくことは、日本ではどうてい見ることの出来ぬ、また見たこともない貴重文献、稀覯文献がおびただしく蒐集編集されていることであり、この集大成は、日本の専門の研究者も、まさに羨望の眼をもって本書を縮くことである。驚くべき豊富な資料を盛ったところの集大成された日本社会運動史文献目録で、正真正銘の、はじめて日本研究家の手にすることのできる完全に近い、少くとも日本では、はじめての文献目録といふことが出来よう。上原氏の長年に互る苦心研究の成果として喜びと敬意とを表するものであり、ひろく日本社会運動史研究家の利用されることを切望するものである。著った目を通してだけで

あるが日本人として考えるとなお、追加編入しておくべき文献が漏れているものもあるように思う。

最後に二三気づいたミス・プリントを附記したい。

△ III-198
p. 98 ① IWAE, Sakutarō 75

△ III-201
IWASA Sakutarō (註文作太郎)

△ IX-81
p. 363 ① TANAKA, Sōtarō 75

△ IX-77
TANAKA Sōgorō (田中惣五郎)

△ Appendix 2. ① II, Yoshirō 75

△ II, Yoshirō
井弥四伊郎)

(以上)